

まちの話題



▲モスクの前で記念撮影

中学生海外派遣団 ブルネイ・ダルサラーム国を訪問

異文化を理解し、国際的な視野を広げるとともに、高浜市や日本のよさを見つめ直すことを目的に実施している中学生海外派遣。今年は8月16日～23日に、高中生7人・南中生3人がブルネイ・ダルサラーム国を訪問しました。

ブルネイは、人口約40万人、東南アジアのボルネオ島北部に位置しているイスラム教国。高浜市から三州瓦を輸出していた縁から、愛・地球博（平成17年開催）の際にフレンドシップ国となりました。そこで、市では平成20年度から、毎年、中学生をブルネイに派遣しています。

生徒たちは三州瓦が使われている王宮、モスク、熱帯雨林や水上集落を見学したほか、学校での授業体験などとおして、現地生徒との交流を深めました。また、セレモニーでは、チャラポコ踊りをホストファミリーに披露するなど、お互いの文化を紹介しあいました。

9月24日には「帰国報告会」で各々の体験談や今後の抱負などを発表。ひと夏の貴重な経験が、きっと将来の糧となることでしょう！



▲現地の新聞にも取りあげられました。

派遣団参加者の感想

★鈴木亜美さん（高浜中学校）

ブルネイに行って実感したことは、伝えたい気持ちがあれば、言いたいことは伝わるということです。また、体調が悪くて不安だったとき、家族のように心配してくれ、特別扱いではなく、ふだん通りの生活のなかに受け入れてもらったことが、心に残っています。

★岡島智希さん（南中学校）

想像していた以上に、ブルネイの方たちは親切でした。英語力が心配でしたが、ためらわずに話すことができました。積極的にコミュニケーションをとっていくことが大切だと学びました。ぜひ後輩たちにもそのよさを知ってもらいたいです。

第34回西三河地域子ども会球技大会

9月5日に、西三河地域子ども会育成連絡協議会主催の球技大会（ドッジボール）が岡崎市中央総合公園体育館で行われました。

高浜市からは高浜ブラックサンダーズ（男子・高浜地区）、エリザベス（女子・翼地区）が参加し、両チームともに熱戦を繰り広げました。

参加した子どもたちからは「楽しかった!また来年も出場したい!!」という声が聞かれ、今後への強い意気込みを感じました。



▲現地の生徒とともに。民族衣装を体験

